

中学校

「全国学力・学習状況調査」豊田市の状況について

令和7年度の結果から

本調査は、生徒の学力や学習状況を把握し、その結果を今後の教育活動に役立てていくことを目的としています。令和7年度の結果から分かる生徒の状況を報告します。

【調査の概要】	調査実施日	令和7年4月17日（木）
	調査対象	中学3年生 28校
	調査事項	教科に関する調査（国語・数学・理科） 質問紙調査（学習・生活）

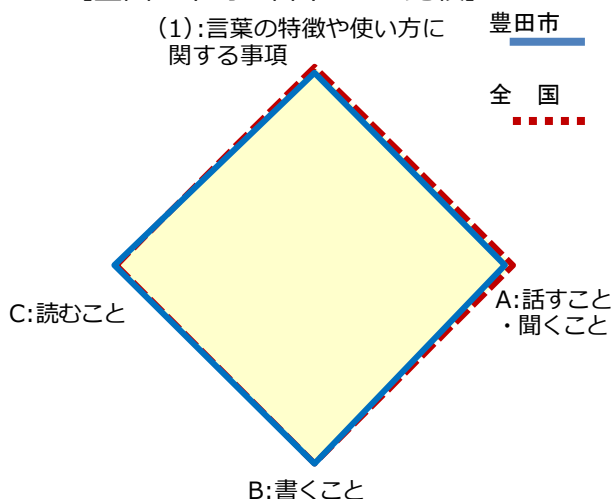
教科に関する調査の結果

< 国 語 >

全国平均とほぼ同じ結果でした

【全国の平均正答率*との比較】

(1):言葉の特徴や使い方に
関する事項



【こんなところできています】

- ・読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える（B）
- ・書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考える（B）
- ・表現の効果について、根拠を明確にして考える（C）

【こんなところが課題です】

- ・資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する（A）
- ・文脈に即して漢字を正しく使う（1）
- ・自分の考えが伝わる文章になるよう根拠を明確にして書く（B）

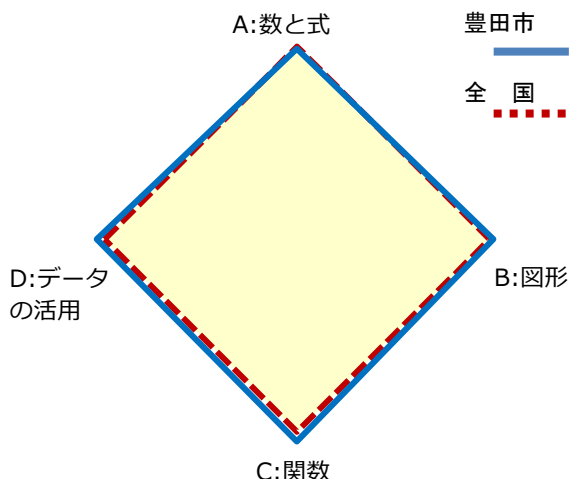
(A) 話すこと・聞くこと (B) 書くこと (C) 読むこと
(1) 言葉の特徴や使い方に关する事項

< 数 学 >

全国平均とほぼ同じ結果でした

【全国の平均正答率*との比較】

A:数と式



【こんなところできています】

- ・数量を文字を用いた式で表す（A）
- ・一次関数について、変化の割合を元に、増加量を求める（C）
- ・必ず起こる事柄の確立や、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え数学的な表現で説明する（D）

【こんなところが課題です】

- ・素数の意味を理解している（A）
- ・式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現で説明する（A）

(A) 数と式 (B) 図形 (C) 関数 (D) データの活用

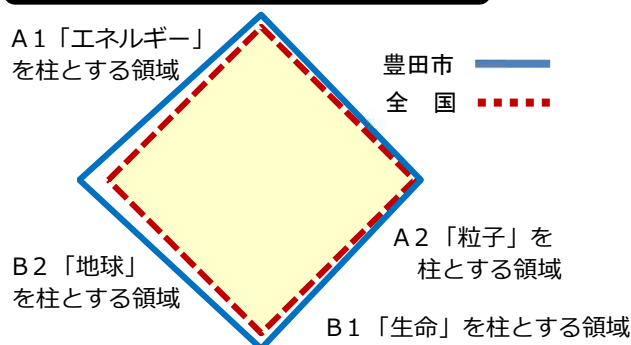
*正答率…テストを100点満点に換算した数値

グラフは全国平均を100としたときの、豊田市の数値を表しています

< 理科 > ※今年度から、理科は公開問題と非公開問題があるため、結果の表し方を他の教科とは一部変えています。

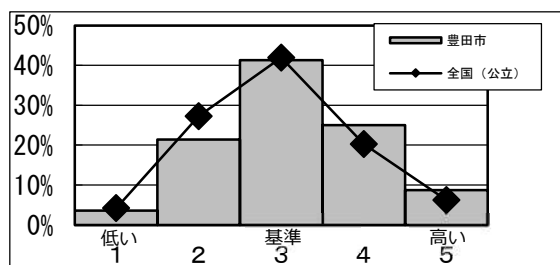
【結果①公開問題の全国の平均正答率*との比較】

全国平均よりも高い結果でした



【結果②全問題の全国の得点分布との比較】

全国の分布に比べて、基準4以上の高い得点を獲得した生徒が多い結果でした



【こんなところできています】

- ・気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身に付いている(B2)
- ・電解熱で水を温める場面で、回路の電流、電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身に付いている(A1)

【こんなところが課題です】

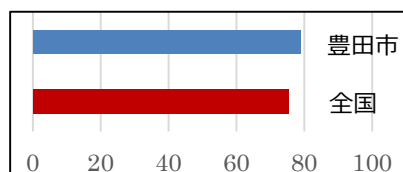
- ・身の回りの事象から生じた疑問や見出した問題を解決するための課題を設定する(A2)
- ・加熱を伴う実験における実験器具の操作等に関する技術が身に付いている(A2)

(A1) エネルギー (A2) 粒子 (B1) 生命 (B2) 地球

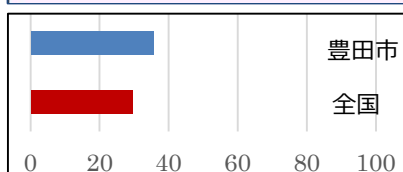
学習および生活状況に関する質問紙調査の結果

< よい傾向 >

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う

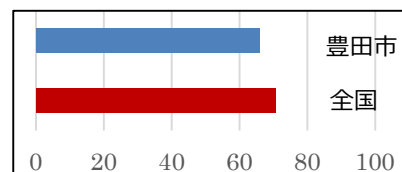


地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある



< 改善を要する傾向 >

各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行う



< 上記以外の傾向 > (全国平均と比べて、○はよい傾向、▲は改善を要する傾向)

- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる
- PC、タブレット等の ICT 機器を、授業で週3回以上使用している
- ▲ 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む

郷土を愛し、自らの可能性を広げ、未来を切り拓く生徒を育てるために

豊田市では

- ・分析結果に基づき、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善を進めます
- ・一人ひとりの基礎基本の定着を図るために、デジタルドリル教材等を授業等で効果的に活用します
- ・コミュニティ・スクールのよさを活かし、地域ぐるみの教育の実現に努めます

学校では

- ・学んだことを意識して活用する場面を設定し、発展的・探究的な学習を進めます
- ・問題解決型の授業に取り組み、自分の考えや見通しをもって学習を進める中で、新たな考えを生み出したり、分かりやすく伝えたりできるように支援します

家庭では

- ・家庭での生活や将来のこと等、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしましょう
- ・生活習慣を整え、計画的に学習を進めるなど、お子さんが自律した生活を送れるように支えていきましょう